工 事 名：九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備２期）工事

質　問　回　答　書

質　問　回　答　書

工 事 名：九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備２期）工事

質問No.	仕様書番号	質　　問	回　　答
1	特-3　工事数量表-1	廃棄材運搬、処分場はどこになりますでしょうか。（アスファルト殻、鉄筋・無筋コンクリート、廃プラ、鉄） 特記仕様書には記入されていない為ご教示ください。	ご質問の発生材の処理等については、発注者にて場所等の指定はしていません。関係法令等に基づくほか、建設副産物適正処理推進要綱を踏まえ適切に処理してください。
2		昼施工と夜間施工について質問です。昼施工の区域と夜間施工の区域を設計上どのようにあわせて何を基準にして区分けされて施工に夜間施工の基準をご指示ください。 （例）通行車両が多いため等	昼間はキャンパス内の人や車の通行量が多く、重機等による作業が困難なエリアにおいて夜間工事を適用するものとして設計しております。
3	特-3　工事数量表-1 特-4　工事数量表-2	昼間　廃材処分　鉄　10.3ｔ 夜間　廃材処分　鉄　 8.2ｔ について質問です。 鉄はスクラップとし、請負金からは控除しないのですか。	控除します。
		― 以上 ―	

工事名：九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備２期）工事

指　示　書

指　示　書

工事名：九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備２期）工事

No.	図面番号	指　示　事　項
1	特-2	鋪装コンクリート及び階段コンクリートのセメントの種類を普通コンクリートから高炉セメントに変更します。（修正箇所：赤字）
2	特-3，特-4	工事数量表を変更します。（修正箇所：赤字）
3	C-7，C-12	汚水管更生工法対象（汚171/2の一部）の既設管種をヒューム管から硬質ポリ塩化ビニル管に変更します。（修正箇所：赤字）
		― 以上 ―

工　事　区　分　　[本工事：土木]

項目＼区分	摘　要	土木	備　考
道路側溝用排水	L形・U形と管布設	⊙	
雨水排水管	第２桝から排水幹線までの配管	⊙	第２桝を含む
〃	幹線の配管	⊙	
汚水排水管、実験排水管	建物及び第１桝までの配管	・	別途工事
〃	第1桝から排水幹線までの配管	⊙	第１桝を含む
〃	幹線の配管	⊙	
植栽撤去	伐根処分共	⊙	

（　２章　材料　）

(2.2.1) 盛土・埋戻土

本工事に使用する土は，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
発生土	砂質土	全ての埋戻し	
購入土	真砂土	全ての埋戻し	十分に締め固めが得られるものとする

(2.3.7) 基礎材料等

本工事に使用する基礎材料等は，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	RC-40	舗装工、排水工、	
砂	粒径5～0mm粗目	排水工	基礎工

(2.3.8) 粒状路盤用材料

本工事に使用する粒状路盤用材料は，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	RC-40	舗装工	下層路盤
再生粒度調整砕石	RM-25	舗装工	上層路盤

(2.4.1) 材料一般

本工事に使用する軟弱地盤改良に使用する安定剤は，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ	普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ	舗装工	路床安定処理

(2.6.3) 鉄筋コンクリート用棒鋼

本工事に使用する鉄筋コンクリート用棒鋼は，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考（JIS規格品）

(2.6.6) 鋼管

本工事に使用する鋼管は，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考

(2.6.7) 鍛鋼品・鋳鋼品及び鋳鉄品

本工事に使用する鍛製品・鋳鋼品及び鋳鉄品は，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
グレーチング（鎖付き）	集水桝　400×500、400×800	排水工	溶融亜鉛メッキ製
	PU側溝　300、400		
マンホールふた	雨水用、汚水用、実験排水用 デザイン・文字入り 車道部 T-25 歩道部 T-14	マンホール	

(2.6.9) 金網

本工事に使用する金網は，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
溶接金網	φ6×150	屋外階段工	

(2.8.2) セメント

本工事に使用するセメントは次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ	普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ	モルタル工	

(2.8.3) 混和材料

本工事に使用する混和材料は次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考

(2.9.2) 設計基準強度

本工事に使用するコンクリートの設計基準強度等は，次による。

副管防護コンクリート	最大骨材寸法	スランプ	水セメント比	単位セメント量
	40mm	8cm	60%以下	270kg/m3
	混和剤	設計基準強度	セメントの種類	塩化物含有量
	(2.8.3) による	18N	高炉セメントB種	0.3kg/m3以下
インバートコンクリート	最大骨材寸法	スランプ	水セメント比	単位セメント量
	25mm	8cm	60%以下	270kg/m3
	混和剤	設計基準強度	セメントの種類	塩化物含有量
	(2.8.3) による	18N	高炉セメントB種	0.3kg/m3以下
舗装コンクリート	最大骨材寸法	スランプ	水セメント比	単位セメント量
	25mm	15cm	60%以下	270kg/m3
	混和剤	設計基準強度	セメントの種類	塩化物含有量
	(2.8.3) による	18N	~~高炉セメント~~ ~~普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ~~	0.3kg/m3以下
均しコンクリート	最大骨材寸法	スランプ	水セメント比	単位セメント量
	40mm	8cm	60%以下	270kg/m3
	混和剤	呼び強度	セメントの種類	塩化物含有量
	(2.8.3) による	18N	高炉セメントB種	0.3kg/m3以下
階段コンクリート	最大骨材寸法	スランプ	水セメント比	単位セメント量
	25mm	8cm	60%以下	270kg/m3
	混和剤	設計基準強度	セメントの種類	塩化物含有量
	(2.8.3) による	18N	~~高炉セメント~~ ~~普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ~~	0.3kg/m3以下

(2.9.3) モルタル

本工事に使用するモルタルは，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考

(2.10.2) ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ製品

本工事に使用するセメントコンクリート製品（JIS規格品）は，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
縁石	150/170×200×600、180/205×250×600	縁石工	詳細図参照　JIS A 5371
U形側溝	PU-300、PU-400	U形側溝工	詳細図参照　JIS A 5372
L形側溝	B-400	L形側溝工	詳細図参照　JIS A 5371
地先境界ブロック	120×150×600、150×150×600	縁石工	詳細図参照　JIS A 5371

(2.10.3) ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ製品（JIS規格品以外）

本工事に使用するセメントコンクリート製品（JIS規格品以外）は，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
組立マンホール	０号・１号・２号 ３号・４号	マンホール工	（社）日本下水道協会認定品
雨水桝・汚水桝	内径450	ます工	（社）日本下水道協会認定品
縁石（擬石）	150/170×200×600	縁石工	日本興業(株)同等品程度以上
地先境界ブロック（擬石）	150×150×600、120×150×600	縁石工	日本興業(株)同等品程度以上
L形雨水桝	MA1型(通常型、透水型)	L形側溝工	
集水桝	250×600×700（通常型、透水型）	ます工	

(2.11.2) 舗装用石油アスファルト

本工事に使用する舗装用石油アスファルトは，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
ｽﾄﾚｰﾄｱｽﾌｧﾙﾄ	針入度(25℃) 60～80(1/10mm)	舗装工	表層

(2.12.1) アスファルト混合物

本工事に使用するアスファルト混合物は，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
~~密粒度~~	~~13~~	~~舗装工~~	~~表層~~

(2.12.2) 再生アスファルト混合物

本工事に使用する再生アスファルト混合物は，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
再生密粒度	13	舗装工	表層

(2.13.1) ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ

本工事に使用するインターロッキングブロックは，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
インターロッキングブロック（平面部）	御影：錵：山桜=1:1:1 透水性 300×600×80、150×600×80	広場舗装工	SAZAREエコロアクア 日本興業(株)同等品程度以上
インターロッキングブロック（スロープ部）	グレー　透水性 200×200×80	広場舗装工	バリアフリーペイブ 日本興業(株)同等品程度以上

(2.15.3) 芝

本工事に使用する芝は，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
野芝	総芝張	平面芝張工 法面芝張工	

(2.16.1) ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ舗装版用目地材

本工事に使用するセメントコンクリート舗装版用目地材は次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考

(2.16.3) 区画線

本工事に使用する区画線は次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
区画線	JIS K 5665	区画線設置工	
路面標示	JIS K 5665	区画線設置工	

路面舗装色は監督職員との協議により決定する。
路面表示の文字の標示内容は監督職員との協議により決定する。

(2.16.4) タイル

本工事に使用するタイルは，次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
タイル	磁器質無釉　100角タイル	歩道舗装工	

(2.16.5) 合成樹脂製品

本工事に使用する合成樹脂製品は次になる。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
下水道用硬質塩化ビニル管(VU)	φ600、φ500、φ450 φ350、φ250、φ200、φ150	管渠工	JSWAS　K-1
下水道用強化プラスチック複合管(FRPM)	φ800	管渠工	JSWAS　K-2

(2.16.6) 安定シート・透水シート

本工事に使用する安定シート・透水シートは次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
透水シート	不織布製	舗装工	

その他の材料

本工事に使用するその他の材料は次による。

材料名	規格・寸法等	使用工程	備　考
足掛金物	φ19　W=300 ﾋﾞﾆｰﾙ被覆，反射板付	マンホール工	
車止め設置工	φ114.3×H700（埋没式） ｱﾙﾐ鋳物+ｽﾃﾝﾚｽﾁﾀﾝ色ｾﾗﾐｯｸ塗装	歩道附属施設	（株）ユニオン同等品程度以上
階段ブロック（擬石）	350×600×40（特注色）	階段工	日本興業(株)同等品程度以上
階段ブロック（擬石）	40/70×600×125(130)(165)（特注色）	階段工	日本興業(株)同等品程度以上

（　３章　仮設工　）

(3.1.2) 施工一般

《任意仮設とする場合》

（１）　管渠　工の施工に伴う仮設は，受注者が施工に先立ち現地の状況を十分に把握し，安全性，社会性，経済性等について十分な検討を行い，受注者の責任において決定し施工する。

（２）　仮設工法の設計にあっては，以下の事項に留意する。

①　地盤面下に各種インフラ設備が埋設されているため、本施工に先立ち試掘をし、埋設インフラの有無を確認の上、大学の運営に影響の少ない工法を選定すること。

②　現場が 既存建物 に近接しており，騒音・振動の少ない工法を選定する。

（　４章　土工　）

(4.1.4) 土及び岩の分類

現状の土質は，下記による。

工　種	土　質	備　考
車道舗装工，歩道舗装工，車道付属施設工，歩道付属施設工	砂質土	
排水工	砂質土	

(4.1.7) 採取場及び建設発生土の受入れ地等

建設発生土の受け入れ地→　福岡市博多区立花寺497-1
吉松砕石(株) 092-503-8187

(4.1.8) 伐開除根

伐開除根の処理は，下記による。

(1) 処理方法は，場外搬出処理とし，搬出計画書を作成し，監督職員に提出する。
(2) 受入場所（福岡市東区箱崎ふ頭4丁目13-1（運搬距離30km以内））
(3) 受入場所（中山リサイクル産業(株)箱崎工場 092-292-8488）
(4) 受入寸法（最大寸法　　mm以下）
(5) 処理後は，速やかに搬出方法、搬出量等を記した搬出調書を作成し、監督職員に提出する。

(4.4.2) 路床安定処理工

路床安定処理工は，次による。

(1) 安定剤は，セメント系とする。
(2) 設計CBRは，40%（合成CBR）とする。
(3) 配合量は，割増しを含み0.043t/m2とする。ただし，施工に先立ち配合試験により決定するものとする。
(4) 混合深さは，施工基面から130,200mm以上（ラップ幅100mm以上）とする。

（　９章　排水工　）

(9.4.3) 硬質塩化ビニル管

硬質塩化ビニル管の継手方法は，ゴム輪型継手とする。
管とマンホールの継手方法は，可とうゴム継手とする。

（　１３章　取りこわし及び舗装補修　）

(13.3.2) 舗装打換え工

舗装打換え工の補充材料は，再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物とし，補充量は，As舗装（車道）0.126t/m2
As舗装（歩道）0.096t/m2とする。

	九州大学施設部	工事名 九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備２期）工事	縮尺 － / 図面番号 特－２
		図面名 特記仕様書－２	日付 R7.7

工事数量表

	名　称	摘　要	数　量	単位	備　考
Ⅰ	排水設備工事	昼間工事			
01	仮設工				
	締切排水工（水替工）		80	日	
	仮土留工	軽量鋼矢板土留工 H=4.0m以下	1	式	
	仮土留工	軽量金属支保工　1～3段	1	式	
	覆工板工	W=1.5m	~~49~~ 28	m2	
	覆工板工	W=2.0m	5	m2	
	交通誘導員		90	人	
02	土工				
(1)	土工				
	根切り(床掘り)	砂質土	3300	m3	
	埋戻工	発生土(上部)	2400	m3	
	埋戻工	発生土(保護部)	330	m3	
	路床安定処理工	厚30cm	~~2700~~ 2670	m2	
	砂基礎工		95	m3	
	~~不用土処分 掘大土量~~		~~185~~ 390	m3	
	試掘工	幅0.6m×長1.0m×深0.6m As	18	箇所	人力併用、埋戻し、路盤含む (慎重作業)
	試掘工	幅0.6m×長1.0m×深0.6m 未舗装(植栽帯)	2	箇所	人力併用、埋戻し、路盤含む (慎重作業)
03	舗装工				
(1)	車道舗装				
	アスファルト舗装工	上層路盤厚15cm 舗装厚5cm	~~1700~~ 1670	m2	
	アスファルト仮復旧工	舗装厚20cm	~~300~~ 297	m2	
(2)	車道付属施設				
	縁石工	歩車道境界ブロック 150/170×200×600	~~700~~ 698	m	
	縁石工	歩車道境界ブロック(擬石) 150/170×200×600	152	m	
	縁石工	地先境界ブロック 150×150×600	2	m	
	縁石工	地先境界ブロック 120×150×600	9	m	
	縁石工	地先境界ブロック(擬石) ~~120×150×600~~ 150×150×600	31	m	
	区画線設置工	溶融式区画線 W=150 実線 黄色 中心線	92	m	
	区画線設置工	溶融式区画線 W=150 実線 白色 外側線、区画線	340	m	
	区画線設置工	溶融式区画線 W=150 実線 白色 路面標示	17	m	
	区画線設置工	溶融式区画線 W=450 実線 白色 停止線、横断線	23	m	
	道路付属物設置工	反射式道路鋲　片面	16	箇所	
(3)	広場・歩道舗装				
	歩道アスファルト舗装工	路盤厚10cm 舗装厚3cm	~~730~~ 725	m2	
	歩道アスファルト仮復旧工	舗装厚13cm	~~310~~ 313	m2	
	歩道脱色アスファルト舗装工	路盤厚15cm 舗装厚5cm	~~270~~ 267	m2	
	歩道脱色アスファルト仮復旧工	舗装厚20cm	~~120~~ 125	m2	
	タイル	磁器質無釉 100角タイル	~~9~~ 9.3	m2	
(4)	広場・歩道付属施設				
	L型側溝工	歩車道境界ブロック 150/170×200×600	~~230~~ 228	m	
	L型側溝工	歩車道境界ブロック 180/205×250×600	19	m	
	車止め設置工	φ114.3×H700(埋没式) アルミ鋳物+ステンレスチタン色 セラミック塗装	12	箇所	
	U型側溝工	PU-300 300×300×2000	134	m	

	名　称	摘　要	数　量	単位	備　考
	U型側溝工	PU-400 400×400×2000	5	m	
04	排水工				
(1)	雨水				
	管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径150mm	86	m	
	管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径200mm	48	m	
	管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径250mm	29	m	
	管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径450mm	44	m	
	管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径500mm	39	m	
	管渠工	強化プラスチック複合管(FRPM) 管径800mm	124	m	
	管更生工	φ450×4.0m　自立管	1	式	
	管更生工	φ700×5.5m　自立管	1	式	
(2)	汚水				
	管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径150mm	339	m	
	管更生工	φ250×108.9m　自立管	1	式	
	管更生工	φ250×6.1m　自立管	1	式	
	管更生工	φ150×20.4m　自立管	1	式	
	管更生工	φ150×21.7m　自立管	1	式	
	管更生工	φ150×11.4m　自立管	1	式	
(3)	実験排水				
	管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径150mm	191	m	
	管更生工	φ250×63.8m　自立管	1	式	
	管更生工	φ250×7.4m　自立管	1	式	
	管更生工	φ250×9.1m　自立管	1	式	
(4)	桝・人孔				
	L形集水桝工	MA1型　標準型	5	箇所	
	L形集水桝工	MA1型　浸透型	2	箇所	
	プレキャストマンホール工	組立マンホール0号 深さ2m以下	3	箇所	
	プレキャストマンホール工	組立マンホール0号 深さ2m超え3m以下	2	箇所	
	プレキャストマンホール工	組立マンホール1号 深さ3m以下	17	箇所	
	プレキャストマンホール工	組立マンホール1号 深さ3m超え4m以下	2	箇所	
	プレキャストマンホール工	組立マンホール2号 深さ4m以下	~~4~~ 14	箇所	
	プレキャストマンホール工	組立マンホール3号 深さ4m以下	2	箇所	
	プレキャストマンホール工	組立マンホール4号 深さ4m以下	1	箇所	
	蓋等取替工		12	箇所	
	小型マンホール工	硬質塩化ビニル製 深さ2m以下	10	箇所	
	小型マンホール工	硬質塩化ビニル製 深さ3m以下	8	箇所	
	マンホール副管取付け工	内径100～300mm 段差1.0m未満	2	箇所	
	マンホール副管取付け工	内径100～300mm 段差2.0m未満	3	箇所	
	マンホール副管取付け工	内径100～300mm 段差3.0m未満	1	箇所	
	ます工	硬質塩化ビニル製 径200mm	16	箇所	
	ます工	コンクリート製 径450mm	8	箇所	
	ます工	コンクリート製(標準型) 250×600×700	6	箇所	
	ます工	コンクリート製(浸透型) 250×600×700	16	箇所	
	取付管布設工及び支管取付工	硬質塩化ビニル製 径150mm	19	箇所	

	名　称	摘　要	数　量	単位	備　考
05	施設補修工				
	舗装切断工	車道アスファルト舗装 切断深5cm	720	m	
	舗装切断工	歩道アスファルト舗装 切断深3cm	710	m	
	舗装切断工	歩道脱色アスファルト舗装 切断深3cm	310	m	
	舗装版破砕工	車道アスファルト舗装 切断深5cm	~~1700~~ 1674	m2	
	舗装版破砕工	歩道アスファルト舗装 切断深3cm	725	m2	
	舗装版破砕工	歩道脱色アスファルト舗装 切断深3cm	~~280~~ 267	m2	
	構造物とりこわし工	鉄筋構造物	84	m3	
	構造物とりこわし工	無筋構造物	118	m3	
	構造物とりこわし工	マンホール蓋	73	枚	
	管渠撤去工	ヒューム管	~~1200~~ 1195	m	
	管渠撤去工	硬質塩化ビニル管(VP)	250	m	
	廃棄材運搬	アスファルト殻	119	m3	
	廃棄材運搬	鉄筋コンクリート	~~83~~ 104	m3	
	廃棄材運搬	無筋コンクリート	~~118~~ 149	m3	
	廃棄材運搬	廃プラ	~~1.6~~ 1	~~m3~~ ~~t~~	
	廃棄材運搬	鉄	10.3	t	
	廃棄材処分	アスファルト殻	119	m3	
	廃棄材処分	鉄筋コンクリート	~~83~~ 104	m3	
	廃棄材処分	無筋コンクリート	~~118~~ 149	m3	
	廃棄材処分	廃プラ	~~1.6~~ 1	~~m3~~ ~~t~~	
	廃棄材処分	鉄	10.3	t	
	充填工	ｴｱﾓﾙﾀﾙ	9	m3	
06	植栽工				
	植栽撤去工	高木撤去工	18	本	
	植栽撤去工	中木撤去工	8	本	
	植栽撤去工	低木撤去工	235	本	
	廃棄材運搬	木材	39	m3	
	廃棄材処分	木材	39	m3	
	平面芝張工	ノシバ	~~751~~ 750	m2	

	名　称	摘　要	数　量	単位	備　考

九州大学施設部

工事名	九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備２期）工事
図面名	工事数量表－１
縮尺	－
日付	R7.7
図面番号	特－３

工事数量表

	名　称	摘　要	数　量	単位	備　考		名　称	摘　要	数　量	単位	備　考		名　称	摘　要	数　量	単位	備　考		名　称	摘　要	数　量	単位	備　考
Ⅱ	排水設備工事	夜間工事					管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径350㎜	38	m			廃棄材運搬	鉄	8.2	t							
01	仮設工						管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径450㎜	47	m			廃棄材処分	アスファルト殻	87	m3							
	締切排水工(水替工)		70	日			管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径600㎜	93	m			廃棄材処分	インターロッキング殻	51	m3							
	仮土留工	軽量鋼矢板土留工 H=4.0m以下	1	式		(2)	汚水						廃棄材処分	コンクリート舗装殻	3	m3							
	仮土留工	軽量金属支保工　1～3段	1	式			管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径150㎜	311	m			廃棄材処分	鉄筋コンクリート	47	m3							
	交通誘導員		270	人		(3)	実験排水						廃棄材処分	無筋コンクリート	63	m3							
02	土工						管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径150㎜	101	m			廃棄材処分	廃ブラ	~~1~~ ~~0.1~~	~~m3~~ ~~t~~							
(1)	土工					(3)	桝・人孔						廃棄材処分	鉄	8.2	t							
	根切り(床掘り)	砂質土	2300	m3			ブレキャストマンホール工	組立マンホール0号 深さ2m以下	~~2~~ ~~42~~	箇所			充填工	ｴｱﾓﾙﾀﾙ	1	m3							
	埋戻工	発生土(上部)	1600	m3			ブレキャストマンホール工	組立マンホール0号 深さ2m超え3m以下	~~1~~ ~~15~~	箇所		06	植栽工										
	埋戻工	発生土(保護部)	270	m3			ブレキャストマンホール工	組立マンホール0号 深さ3m超え4m以下	2	箇所			植栽撤去工	高木撤去工	2	本							
	路床安定処理工	厚30cm	~~1730~~ ~~1700~~	m2			ブレキャストマンホール工	組立マンホール1号 深さ3m以下	19	箇所			植栽撤去工	低木撤去工	70	本							
	砂基礎工		79	m3			ブレキャストマンホール工	組立マンホール1号 深さ3m超え4m以下	1	箇所			廃棄材運搬	木材	6	m3							
	不用土処分 ~~購入土量~~		~~269~~ ~~35~~	m3			ブレキャストマンホール工	組立マンホール2号 深さ4m以下	5	箇所			廃棄材処分	木材	6	m3							
03	舗装工						ブレキャストマンホール工	組立マンホール3号 深さ4m以下	2	箇所			移植工	サツキツツジ	42	本							
(1)	車道舗装						小型マンホール工	硬質塩化ビニル製 深さ2m以下	7	箇所			移植工	ハイビャクシン	15	本							
	アスファルト舗装工	路盤厚15cm・舗装厚5cm	~~914~~ ~~910~~	m2			小型マンホール工	硬質塩化ビニル製 深さ3m以下	4	箇所			法面芝張工	ノシバ	~~40~~ ~~39~~	m2							
	アスファルト仮復旧工	舗装厚15cm	110	m2			マンホール副管取付け工	内径100～300㎜ 段差1.0m未満	3	箇所													
(2)	車道付属施設						マンホール副管取付け工	内径100～300㎜ 段差2.0m未満	6	箇所													
	縁石工	歩車道境界ブロック 150/170×200×600	87	m			ます工	硬質塩化ビニル製 径200㎜	23	箇所													
	縁石工	歩車道境界ブロック(擬石) 150/170×200×600	214	m			ます工	コンクリート製 径450㎜	9	箇所													
	縁石工	地先境界ブロック 150×150×600	45	m			ます工	コンクリート製(標準型) 250×600×700	8	箇所													
	縁石工	地先境界ブロック 120×150×600	47	m			ます工	コンクリート製(浸透型) 250×600×700	12	箇所													
	縁石工	地先境界ブロック(擬石) ~~120×150×600~~150×150×600	7	m			取付管布設工及び支管取付工	硬質塩化ビニル製 径150㎜	27	箇所													
	区画線設置工	溶融式区画線 W=150 実線 白色 外側線、区画線	5	m		05	施設補修工																
	道路付属物設置工	反射式道路鋲　片面	16	箇所			舗装切断工	車道アスファルト舗装 切断深5cm	~~390~~ ~~391~~	m													
(3)	広場・歩道舗装						舗装切断工	歩道脱色アスファルト舗装 切断深3cm	~~620~~ ~~621~~	m													
	歩道脱色アスファルト舗装工	路盤厚15cm 舗装厚5cm	821	m2			~~舗装切断工~~	~~インターロッキング舗装 切断深8cm~~	~~562~~	~~m~~													
	歩道脱色アスファルト仮復旧工	舗装厚20cm	~~363~~ ~~360~~	m2			舗装切断工	コンクリート舗装 切断深7cm	8	m													
	インターロッキング舗装工	路盤15cm・ｸｯｼｮﾝ砂 3cm ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装 8cm	~~669~~ ~~670~~	m2			舗装版破砕工	車道アスファルト舗装 切断深5cm	~~913~~ ~~910~~	m2													
	インターロッキング舗装工(再利用)	路盤15cm・ｸｯｼｮﾝ砂 3cm ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装 8cm	29	m2			舗装版破砕工	歩道脱色アスファルト舗装 切断深3cm	~~821~~ ~~820~~	m2													
	コンクリート舗装工	再生クラッシャーラン厚10cm コンクリート厚7cm	42	m2			~~舗装切断工~~	~~インターロッキング舗装 切断深8cm~~	~~640~~	~~m~~													
(4)	広場・歩道付属施設						舗装版破砕工	コンクリート舗装 切断深7cm	42	m2													
	車止め設置工	φ114.3×H700(埋没式) アルミ鋳物+ステンレスチタン色 セラミック塗装	3	箇所			構造物とりこわし工	鉄筋構造物	43	m3													
	U型側溝工	PU-300 300×300×2000	10	m			構造物とりこわし工	無筋構造物	52	m3													
	U型側溝工	PU-400 400×400×2000	28	m			構造物とりこわし工	マンホール蓋	59	枚													
	階段工(玄関階段部)	V-160　H-350	44	m			管渠撤去工	ヒューム管	376	m													
	階段工(玄関ポーチ部)	V-120　H-350	9	m			管渠撤去工	硬質塩化ビニル管(VP)	5	m													
	階段工(テラス部)	V-125　H-350	52	m			廃棄材運搬	アスファルト殻	87	m3													
04	排水工						廃棄材運搬	インターロッキング殻	51	m3													
(1)	雨水						廃棄材運搬	コンクリート舗装殻	3	m3													
	管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径150㎜	233	m			廃棄材運搬	鉄筋コンクリート	47	m3													
	管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径200㎜	11	m			廃棄材運搬	無筋コンクリート	63	m3													
	管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径300㎜	3	m			廃棄材運搬	廃ブラ	~~1~~ ~~0.1~~	~~m3~~ ~~t~~													

九州大学施設部

工事名	九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備２期）工事
図面名	工事数量表－２
縮尺	－
日付	R7.7
図面番号	特－４

汚水計画平面図　S=1:500

凡 例
- 汚水
- 汚水(既設)
- 小口径桝
- 雨水桝
- 汚水桝
- 小型マンホール
- 組立0号人孔
- 組立1号人孔
- 組立2号人孔
- 組立3号人孔
- 組立4号人孔
- 建物

夜間施工
汚11
VU○150 i=3.0‰ L=19.30m

汚10
VU○150 i=3.0‰ L=23.40m

汚8
VU○150 i=3.0‰ L=32.00m

汚9
VU○150 i=3.0‰ L=4.00m

夜間施工
汚19
VU○150 i=3.0‰ L=53.10m

夜間施工
汚18
VU○150 i=3.0‰ L=6.30m

更生工法(自立管)
汚62 1
HP管○250 i=9.6~11.1‰ L=60.40m

更生工法(自立管)
汚35
HP管○250 i=10.0~10.3‰ L=48.50m

夜間施工
汚69
VU○150 i=3.0‰ L=11.60m

夜間施工
汚63
VU○150 i=3.0‰ L=30.40m

夜間施工
汚70
VU○150 i=3.0‰ L=20.10m

汚64
VU○150 i=3.0‰ L=13.70m

汚65
VU○150 i=3.0‰ L=29.50m

汚68
VU○150 i=3.0‰ L=19.50m

汚66
VU○150 i=3.0‰ L=49.70m

夜間施工
汚67
VU○150 i=3.0‰ L=6.40m

汚77
VU○150 i=3.0‰ L=33.90m

汚76
VU○150 i=3.0‰ L=41.50m

更生工法(自立管)
汚78
HP管○250 i=4.9‰ L=6.10m

汚173
VU○150 i=3.0‰ L=2.60m

更生工法(自立管)
汚171 3
VP○150 i=16.8~33.3‰ L=14.90m

更生工法(自立管)
汚171 2
i=16.4‰
HP管○150 L=5.50m
~~i=16.4~33.3‰ L=20.40m~~

汚171 2
HP管○150 i=16.4~33.3‰ L=20.40m

汚172
VU○150 i=3.0‰ L=18.10m

汚170 3
VU○150 i=3.0‰ L=26.50m

汚170 2
VU○150 i=3.0‰ L=28.00m

更生工法(自立管)
汚170 1
VP○150 i=13.2‰ L=11.40m

夜間施工
汚171 1
VU○150 i=3.0‰ L=16.10m

汚73
VU○150 i=3.0‰ L=41.60m

汚75
VU○150 i=3.0‰ L=30.50m

汚74
VU○150 i=3.0‰ L=14.60m

汚71
VU○150 i=3.0‰ L=47.40m

汚62 2
VU○150 i=3.0‰ L=13.70m

汚72 1
VU○150 i=10.8‰ L=6.50m

汚72 2
VU○150 i=3.0‰ L=2.70m

汚61
VU○150 i=3.0‰ L=7.70m

汚34
VU○150 i=3.0‰ L=3.00m

汚16
VU○150 i=3.0‰ L=5.00m

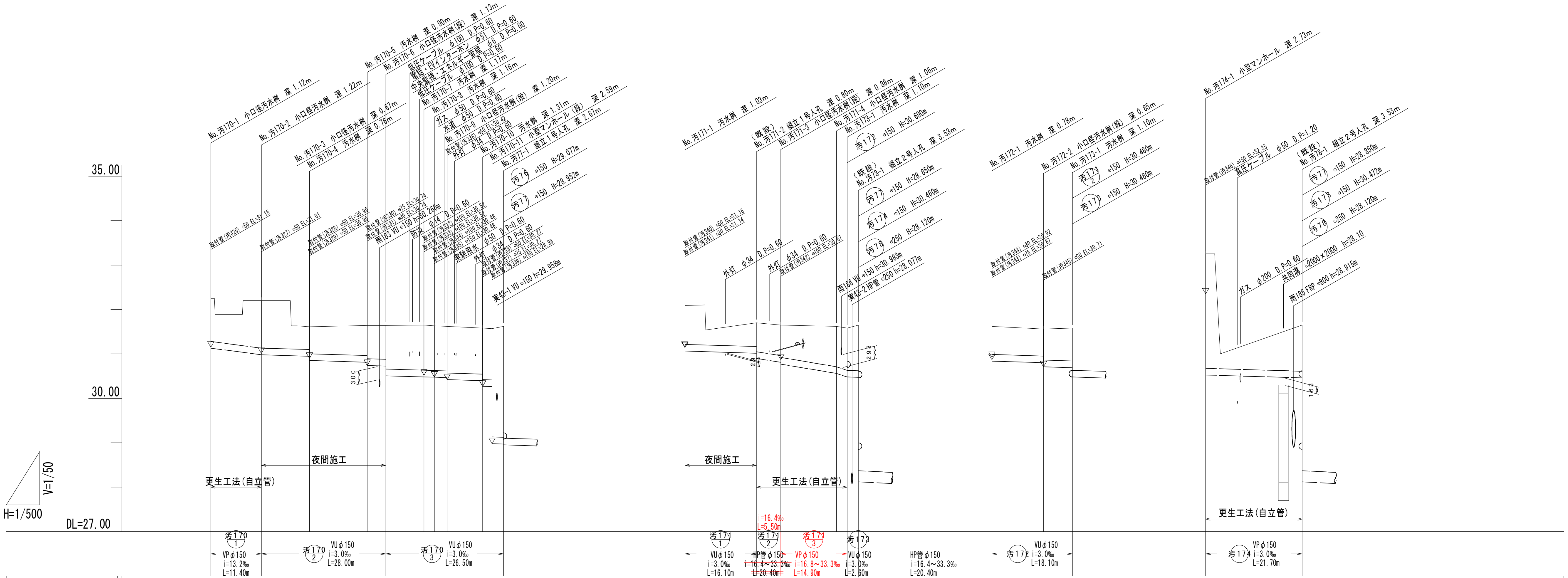
既設φ150
既設φ200
既設φ250

共同溝A1500×2000
共同溝B1500×2000
共同溝C2000×2000
共同溝D2000×2000

廃材置場
光高温実験棟
先端物質化学研究所本館
総合理工学府研究院本館
共通講義棟(1)
共通講義棟(2)
筑紫地区共同棟
健康科学センター
総合研究棟
高速流動実験棟
マイクロ波計測実験棟
1棟
中央分析センター
物品倉庫
特高変電所

	九州大学施設部	工事名	九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備２期）工事	縮尺 1：500
			汚水計画平面図	R7.7
				図面番号 C－7

汚水計画縦断図-5 V=1:50 H=1:500



	汚170-1		汚170-2		汚170-3		汚171-1	汚171-2 / 汚171-3	汚173	汚172			汚174	
地盤高	32.25	32.20	31.63 31.61	31.64 31.64	31.65 31.63 31.62	31.58 31.57 31.62	32.09	31.70 31.65	31.62 31.58 31.65	31.62	31.56	31.58	33.25	31.65
土被り	0.96	1.06 1.06	0.60	0.67 0.74 0.76 0.97	1.01 1.00 1.00 1.04	1.03 1.15 1.15 2.43 2.49	0.87	0.53 0.62 0.66 0.72	0.90 0.94 0.94 1.02	0.63	0.60 0.69	0.73	2.57	1.03
管底高	31.130	30.980	30.852	30.813 30.740 30.727 30.508	30.482 30.475 30.466 30.420	30.396 30.270 30.264 28.980 28.972	31.063	31.015 30.900 30.810 30.770	30.560 30.480 30.472	30.837	30.802 30.710	30.690	30.525	30.460
掘削深	1.13	1.23 1.33	0.87	0.93 1.01 1.02 1.24	1.28 1.26 1.26 1.31	1.29 1.42 1.41 2.70 2.76	1.13	0.79 0.83 0.87 0.89	1.07 1.11 1.21 1.29	0.89	0.87 0.96	1.00	2.73	1.20
追加距離	0.00	11.40	19.40 22.20	35.20 39.40	48.00 50.30 53.20	61.20 63.30 65.90	0.00	16.10 21.60	34.10 36.50 39.10	0.00	11.60	18.10	0.00	21.70
単距離	0.00	11.40	8.00 2.80	13.00 4.20	8.60 2.30 2.90	8.00 2.10 2.60	0.00	16.10 5.50	12.50 2.40 2.60	0.00	11.60	6.50	0.00	21.70
土留工														
路面覆工						縞鋼板 W=1.50m L=2.5m								
道路種別	Co舗装	車道As舗装					車道As舗装	Co舗装		歩道As舗装			歩道As舗装	

汚170-1 汚170-2 汚170-3 汚171-1 汚171-2 汚173

汚172 汚174

注1)インフラ支障物付近の掘削は、監督職員立会のもと行う

注2)管布設時は、試掘等で地下埋設物を確認後、掘削を行うこと。

九州大学施設部	工事名	九州大学(筑紫)基幹・環境整備(排水設備2期)工事	縮尺 V=1:50 H=1:500	図面番号 C－12
	図面名	汚水計画縦断図-5	日付 R7.7	